

令和8年度 九州大学法科大学院入学者選抜試験 試験問題
論文試験

以下の文章を読み、【設問1】から【設問3】に答えなさい。

(省略)

(出典:橋本祐子「裁判官は感情に動かされてはならないのか? : 『法と感情』研究を手がかりに」現代思想 51 巻 9 号 (2023 年)。出題に際し、一部改めた。)

【設問1】(50 点)

下線①について、著者は「裁判官は感情に動かされてはならない」という台本をどのようなものであると説明しているか。この台本の背景にある法学観や感情についての理解にも言及して、500 字以上 700 字以内で説明せよ。

【設問2】(70 点)

下線②について、なぜ裁判官にとって、正義感覚(とりわけ怒り)、共感、同情といった感情が重要であると本文では論じられているか。裁判官の良心と正義感覚、および、法的判断における共感や同情の役割にもそれぞれ言及しつつ、750 字以上 950 字以内で説明せよ。

【設問3】(30 点)

本文を通して、著者は「裁判官は感情に動かされてはならない」という台本に対して、いくつかの感情が裁判や法的判断において重要な役割を果たすことを論じている。しかし、著者の議論を受けてもなお、「台本」を維持すべきであるとも考えることもできる。仮にそのように考えるならば、どのように「台本」を擁護することができるか。本文の議論の問題点やあなた自身で考えた理由を複数挙げつつ、300字以上500字以内で論ぜよ。